

日進精機株式会社



飯田工場

金型、プレス加工、自家製品の主力工場。本社工場は精密機械加工および開発を行っています。タイ工場はプレス加工が主体です。



順送プレス金型およびプレス加工

深絞りの順送加工は得意の分野。また従来は切削加工で作っていた部品をプレス化することによって大幅なコストダウンも実現しています。



リフレクターの金型

自動車，自転車，高速道路などのリフレクターの金型は世界でもトップクラス。



CNCパイプベンダー

三次元自由自在にパイプを曲げる機械。欧米の特許も取得しています。

Since 1957. **超精密金型加工という
揺るぎない経営原資を礎に半世紀**

企 業 理 念

1. 私たちは優秀な精密加工技術とその周辺技術を利用することによりお客様に喜ばれる商品とサービスを適正な価格で提供し、社会に貢献します。
2. この目的を達成するために、私たちの成長に必要な適切な利益をあげなければなりません。
3. この目的を達成するために、私たちは常に現状を打破し、環境の変化に拘わらず成長していきます。

得 意 技 術

開発型順送プレス金型

金型と一口に言っても、用途によってさまざまですが、日進精機は、いわゆる精密金型と呼ばれるカテゴリーを得意分野としています。もちろん精度を追求するだけではありません。他社では真似のできない深絞り（平面の金属板を細長いカップ状に成形）加工の金型も得意技術のひとつです。また、従来は切削加工で作っていた部品をプレス化することによって飛躍的な生産性向上と大幅なコスト低減を実現するハイテク加工も、多くのお客様に高く評価されています。

リフレクター金型

自動車のリアランプや道路の反射鏡に使用されているリフレクターは、一般になじみ深いものですが、その要求精度は人命にかかわる責任を担っているため非常に厳しく、それを製造する金型製作には、極めて高度な製造技術が必要とされています。この分野での日進精機は、国内唯一、世界でも数社といわれるトップメーカーで、世界的にも圧倒的なシェアを誇っています。

CNCパイプベンダーその他自家商品

曲げ半径に応じた金型が不要な画期的なパイプベンダーです。三次元自由自在の曲げが可能で、曲げ半径が連続的に変化する蚊取り線香のような加工もOKです。その他サインバーチャック、ブロークリーナーなど金型現場に必須の自家製品も取り揃えています。

企業データ

代 表 者	代表取締役社長 加藤忠郎
本社所在地	〒146-0095 東京都大田区多摩川2-29-21 29-21, Tamagawa-2, Ohta-ku, Tokyo, JAPAN 146-0095
飯 田 工 場	〒399-2221 長野県飯田市龍江7334-1 7334-1, Tatsue, Iida-shi, Nagano, JAPAN 399-2221
タイ工場	A. khamtaleso, Nakhon Ratchasima 30280, THAILAND
従業員数	165人
資本金額	7000万円
年間売上高	25億円
連絡先	TEL 03-3758-1901 FAX 03-3758-1969 E-mail nissin@nissin-precision.com URL http://www.nissin-precision.com